

平塚協会報

発行所 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 発行責任者 高橋 千之

全国労働衛生週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 湯川 和彦



(公社)神奈川労務安全衛生協会平塚支部および会員事業場の皆さまには、平素から労働災害の防止に多大のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、全国労働衛生週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を促進することを目的として、昭和25年に第1回を実施して以来、今年で67回目を迎えます。

全国の労働衛生の現状を申し上げますと、業務上疾病の被災者数は長期的には減少してきているものの、近年は横ばいで推移しているところです。

労働者の健康をめぐる状況は、定期健康診断の結果、脳・心臓疾患につながる所見をはじめ何らかの所見を有する労働者の割合は年々増加しており、平成27年は53.6%と労働者の半数強が有所見者という状況にあり、総務省が平成27年に実施した「労働力調査」によれば、ここ数年減少傾向にありますが、週60時間以上働いている労働者の割合は420万人(8.2%)で、働き盛りといわれる30歳台の男性は105万人(15.6%)に上っており、厚生労働省が平成25年に実施した「労働安全衛生調査」によれば、「現在の仕事や職業生活に関することで強い不安、悩み、ストレスになっていると感じる事柄がある労働者」の割合は52.3%という結果になっています。このような状況の下、平成27年度における脳・心臓疾患による労災請求件数は795件と依然として高い水準にあり、精神障害による労災請求件数は年々増加して1,515件と過去最高となっています。

また、ジクロロメタンや1,2-ジクロロプロパンによる大阪府の印刷工場の労働者に発症した胆管がんやオルトートルイジンによる富山県の化学工場の労働者に発症した膀胱

がんなど、これまで特定化学物質障害予防規則等の規制対象となっていなかった化学物質が原因とされるがんが発生しています。

さらに、最近、国立がん研究センターは、受動喫煙による日本人の肺がんリスクは約1.3倍とする研究結果を報告し、受動喫煙の肺がんリスク評価は確実であると発表しています。

このような状況を踏まえ、平成26年6月に公布された改正労働安全衛生法では、ストレスチェック制度の創設、表示義務の対象となる化学物質の範囲の拡大と一定の危険・有害な化学物質に対するリスクアセスメントの実施、職場における受動喫煙防止対策等、業務上疾病の発生を未然に防止するための仕組みを充実させたところであり、その確実な履行が求められています。

今年も、9月1日から9月30日までを準備期間、10月1日から10月7日までを本週間として、

「健康職場 つくる まもるは みんなが主役」

をスローガンに、全国労働衛生週間が展開されます。

今年度のスローガンは、上記の課題に対して労働者自身や管理監督者、産業保健スタッフが一丸となって健康管理を進め、労働者の健康が確保された職場の実現を目指すことを表しています。

皆様もこの労働衛生週間を契機として、それぞれの職場で、労働衛生管理の重要性についての認識をさらに深めていただくとともに、引き続き自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図られますようお願いいたします。

平成28年度 全国労働衛生週間スローガン

健康職場 つくる まもるは みんなが主役

平成28年度全国労働衛生週間平塚地区促進大会

平成28年度「第67回全国労働衛生週間平塚地区促進大会」は、『健康職場 つくる まもるは みんなが主役』のスローガンのもとに、去る9月8日(木)平塚市中央公民館大ホールにおいて開催されました。

大会は、平塚労働基準監督署 湯川署長による開会の挨拶から始まり、平塚市落合市長の祝辞代読へと続き、平塚労働基準監督署 青山安全衛生課長による衛生週間の趣旨説明が行われました。

その後、第二部として労働災害防止4団体共催の「第60回平塚地区安全衛生大会」が開催され、事業場ならびに地区の安全衛生活動の推進に尽力された方々に対して、各団体長より「安全衛生推進優良者」の表彰が行われました。今年は、神奈川労働安全衛生協会平塚支部として24名の方(被表彰者は次頁)が受賞されました。おめでとうございます。

引き続き平塚地区食料品製造業労働災害防止対策推進連絡会議 松下会長より「大会宣言」が行われ、参加者全員で確認致しました。

休憩をはさみ、第三部として特別講演として、山梨県立

大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科准教授の山中達也様より「みんなが元気になる職場づくり」「私」と「仲間」を大切に作るヒントと題して講演がありました。

最後に建設業労働災害防止協会神奈川支部平塚分会 川野辺会長の閉会の挨拶により、本大会を終了致しました。

(株)ショーワ 栗原 記



化学物質リスクアセスメント講座

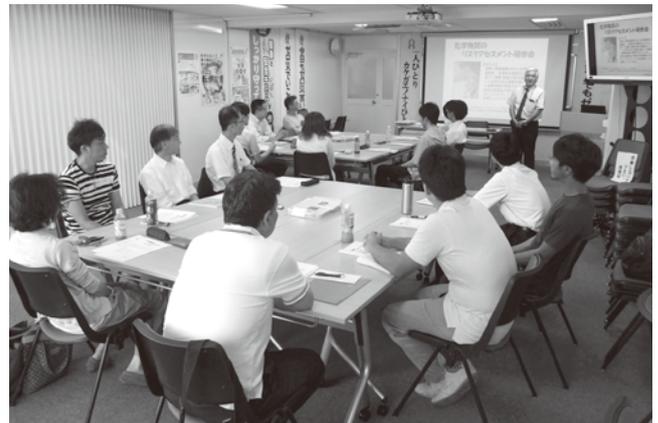
労働安全衛生法が平成28年6月より改正施行されました。対象640物質についてはこれ以後使用を始めるなどした場合はリスクアセスメントを行わなければなりません。これを受けて、8月31日、平塚支部教室にて三瓶裕二講師のもと15名の参加者を得て講習会が行われました。

午前中は講義中心でしたが午後は2グループに分かれてSDSをもとにJISHA式、コントロールバンディング式の2方式で作業例を使ってリスクの判定を行いました。JISHA式は決められた手順にそって記入用紙を埋めていくとリスクレベルを判定することができます。

一方コントロールバンディング式は厚生労働省HP「職場のあんぜんサイト」へ必要事項を入力することによりリスク判定ができます。どれも自社に持ち帰ってレベル判定を行うのはややハードルが高いように思えました。印刷業界での胆管がんが注目が集まった化学物質ですが来

年3月には27物質が追加されることが決まっており、さらに追加されることが予想されます。次回開催は来年3月を予定していますので多くの方のご参加をお待ちしています。

(株)藤田電機製作所 小笠原 記



産業保健活動委員会の工場見学会に参加して

田中貴金属工業(株)伊勢原工場 健康管理室 橋本 敏美

9月2日に産業保健活動委員会主催の工場見学会に参加し、日本クロージャー株式会社平塚工場を訪問しました。工場見学会は毎年開催されているとのことですが、私は昨年の秦野病院デイケア施設に続き2回目の参加となりました。

今回見学させて頂いた日本クロージャー株式会社は、ペットボトル・調味料・牛乳などの樹脂キャップ、瓶詰め用の金属キャップなど私たちの身近に存在する様々なキャップを製造しています。見学会は①工場の概要説明②衛生体制・産業保健活動の紹介③健康支援室・食堂の見学④工場の見学と盛り沢山の内容でした。

産業保健活動については、看護師であり衛生管理者でもある山田さんよりお話を伺いました。労働衛生の5管理(総括管理・作業環境管理・作業管理・健康管理・労働衛生教育)に沿った活動のほか、厚生労働省の研究協力として口腔内健診を実施するなど様々な取り組みを行い、従業員の

健康を多方面から支援されていることがわかりました。健康支援室の見学では、自身の環境との比較のため皆さん興味津々のご様子。窓からの素晴らしい眺望、温かさを感じるような色や配置が工夫されたインテリアに感嘆の声が沸き上がりました。相談しやすい環境づくりの大切さを改めて認識しました。クリーンルーム用の作業着に着替えての工場見学では、非常に整理整頓され清潔感があり、このような日頃からの心掛けが労働災害の防止につながることを実感しました。短い時間ではありましたが、非常に充実した見学会となりました。

最後に、夏の繁忙期でお忙しい状況にも関わらず見学を受け入れて下さった日本クロージャー株式会社の関係者の皆様、また他工場の安全衛生活動や健康管理の取り組みを知る機会を作ってくださった産業保健活動委員会の皆様に感謝申し上げます。

平成28年度 安全衛生推進優良者被表彰者名簿

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 支部長表彰 (敬称略)

事業場名	被表彰者名	事業場名	被表彰者名
日産車体エンジニアリング株式会社	河野 徳孝	古河電気工業株式会社 平塚事業所	二宮 孝樹
日産車体株式会社	島袋 忠	古河電気工業株式会社 平塚事業所	杉山 正巳
日産車体株式会社	遠藤 利行	古河電気工業株式会社 平塚事業所	古閑 一孝
横浜ゴム株式会社 平塚製造所	五十嵐 伸明	有限会社 池田鋼材	柿崎 盛行
横浜ゴム株式会社 平塚製造所	大武 弘芳	日本端子株式会社 大磯工場	鈴木 保則
横浜ゴム株式会社 平塚製造所	後藤 英樹	株式会社 クボテック	窪嶋 誠司
三興製鋼株式会社	脇田 満夫	山神運輸工業株式会社 秦野支店	大貫 正己
三菱樹脂株式会社 平塚工場	勝 光雄	株式会社 日立製作所ICT事業統括本部	羽二生 一男
株式会社 トノックス	大坪 久夫	株式会社 コベルコ マテリアル銅管 秦野工場	佐久間 茂
日本特殊塗料株式会社 平塚工場	大畑 輝公	株式会社 井上製作所	猪瀬 雄亮
三菱ガス化学株式会社 平塚研究所	坂本 斉	田中貴金属工業株式会社 伊勢原工場	久保園 晃一
古河電気工業株式会社 平塚事業所	藤原 啓	日産車体株式会社	田村 隆

日産車体(株)秦野事業所 神奈川労働局長優良賞を受賞する。

7月7日(木)横浜の第2合同庁舎にて第28回「神奈川労働局安全衛生表彰式」が開催され平塚支部より、日産車体(株)秦野事業所が神奈川労働局長優良賞を受賞しました。

誠におめでとう御座います。

この賞は「安全衛生に関する水準が良好で、改善のための取組みが他の模範と認められる事業所」に贈られるものです。秦野事業所では労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、過去の活動状況を踏まえた活動方針、目標及び重点実施項目を定めた年間安全衛生管理計画を策定しています。目標に対する達成状況については事業所、及び本社で評価する仕組みが構築され、評価結果を次年度の計画に反映させた上で、リスクアセスメント、職場巡視、階層毎の安全衛生教育、ヒヤリ・ハット報告や改善提案の募集等、各種活動を活発に行なっています。これらの取り組みを通じて平成17年以降、10年以上無災害を継続されていること

が今回の受賞につながりました。今後も安全衛生活動を更に充実させ安全衛生の水準向上に努められることを祈念致します。



神奈川県最低賃金の改正のお知らせ

「必ずチェック！ 最低賃金 使用者も、労働者も。」

神奈川県最低賃金 930円 (時間額)
(25円引き上げ)

効力発生日 平成28年10月1日

○神奈川県内の事業場で働くすべての労働者(常用・臨時・パート・アルバイト等の雇用形態や呼称の如何を問いません。)とその使用者に適用される神奈川県最低賃金が改正されました。

○次の賃金は最低賃金の対象となる賃金に含まれません。

- ① 精皆勤手当、通勤手当、家族手当
- ② 臨時に支払われる賃金
- ③ 1か月を超える期間ごとに支払われる賃金
- ④ 時間外、休日労働に対する賃金、深夜割増賃金

問合せ先

平塚労働基準監督署 監督課
電話 0463 (43) 8615

神奈川労働局のホームページアドレス
<http://kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>



雑感 『ウォーキングの途中にて』

コベルコマテリアル銅管 五十嵐 富士夫

いつの間にか還暦も過ぎたのに、意外とこの老体が長持ちなのには少々驚いている。

田舎でトンボや蝉など追いかけて育ったせいか、それとも親が丈夫な体を与えてくれたのか分かりませんが、とにかく親には感謝している。

いくら丈夫な体でも四十路を過ぎたところからは、疲れが抜けにくい、息が切れるなど変調が見え始めたので、一念発起し休日には早朝ウォーキングを始めた。

基本コースは、自宅～渋沢丘陵～日赤病院～秦野駅～水無川沿い～帰宅ですが、その日の気分で多少コースを変化させながら、富士山を背に秦野湧水群の中を歩いている。ウォーキングコースのビューポイントを紹介しましょう。

①まいまいの泉(南公民館)

地下20mの地下水を自噴させている

②渋沢丘陵

秦野市街地と丹沢の山々を一望できる丘陵地帯

お勧めは、冬早朝の富士山である、大空に威風堂々そび

え立つ雄姿には言葉は要らない、この雄姿を見たさに早朝ウォーキングを行っている、と言っても過言では無い。富士を背に正月元旦には江の島方面から昇る初日の出のスポットとしてもお勧めである。元旦にはいつもの場所に三脚を立て、初日の出を待つのも楽しみの一つである。

③立野緑地

神奈川の探鳥地50選である、野鳥を観察できる緑地帯

④今泉名水桜公園

約2500t/日も湧水量があり、冬でも桜を楽しめる、湧水と桜の公園

⑤弘法の清水

全国名水100選の秦野盆地湧水群の中で特に有名な弘法大師伝説の清水

ここまでくればコースも終盤、まずは小さなお宮に手を合わせ、それからコンコンと湧き出る清水で手と顔を洗い、最後に喉を潤すと冷たい水の美味しさは格別である。

如何でしょうか、湧水と桜そして富士山眺望のウォーキングコース、一度楽しんでみませんか。

●事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講習●

8月25日(木)・26日(金)の二日間に渡り、平塚支部教室にて、『事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講習』が開催され、9名の方が参加しました。

昨年12月から施行されたストレスチェック制度を始め、メンタルヘルスについて、多様な講師の方から実例・経験を交えた貴重な講義が行われました。また、座学に加えて、複数回のグループワークも行われました。メンタルヘルス不調者に関する事例をもとに、受講者間で問題点や対策等を議論したうえで、講師の方からアドバイスをいただくことにより、有意義な体験をすることができました。

メンタルヘルス対策で大切なことは、気付くことだと伺いました。皆様も自分自身のストレス反応に気付くことはもちろんですが、周囲にも積極的に気を配り、一緒に働く仲間の変化に気付くことで、メンタルヘルス不調の早期対応に繋げていただければと思います。

スタンレー電気(株) 加藤 記



編集後記

この会報の発刊される頃は全国労働衛生週間です。

我が社も毎月末日に安全衛生委員会を実施しており、私が委員長を務めております。この原稿作成中の前月7月末のテーマは「熱中症対策」…ということで事前対策したつもりでいましたが、まだ残暑の残る今、現場の空調が故障し、あらためて職場環境維持の難しさを実感しております。今年の夏はエルニーニョ現象の終息とその反対のラニーニャ現象の活発化で猛暑が予想されていましたが、皆様はどうお感じになりましたか？

確かに暑かった！という方も多いでしょうが、私はむしろ残暑厳しい8月中旬からの台風の連続と上陸の経路が印象に残っています。集中的な被害に遭われた皆様には謹んでお見舞い申し上げますが、何か気象が狂っているのでは？と思わせるものでした。

世界各地でも今年は異常気象が頻出しています。やはり地球温暖化の影響でしょうか？

振り返って、我々の職場も健康のバランスが崩れてしまう人が多くなり、近年メンタル面の健康が多く取り上げられています。台風ではないですが、崩れてしまっただけでは修復が大変！やはり日頃から周囲の我々が仲間を常に思いやり、声をかけ、時には悩みを聞いてやる、そういう健康な職場にしていきたいものですね。

(株)山川機械製作所 五嶋 記